

プラットフォーム事業説明会における質疑応答

質疑応答

- ・ 質問

: NECの回答

- ・ 重点事業について、2012年度の売上高1800億円の内訳を教えてください。また、2012年度の営業利益計画200億円に占める割合のイメージを教えてください。
 - 売上高については、ユニファイドコミュニケーション事業が約900億円、クラウド共通基盤事業が約200億円、サーバ事業が約700億円という内訳です。
 - これらの重点領域は先行投資の段階であり、まだ大きな利益が出る状況ではありません。200億円の営業利益は、コモン・プラットフォームやソフトウェアファクトリなどの施策を活用し、既存の事業領域が中心となる計画です。
- ・ プラットフォーム事業の損益をソフトウェア、ハードウェア、ネットワークに分けるとどのようなイメージですか。それが2年後(2012年)にどのように変化する見込みですか。
 - ソフトウェア、ハードウェア、ネットワークの中で、かなりの部分はソフトウェアからの利益となります。
 - 2年後についても、内訳は大きく変わらないと考えています。ユニファイドコミュニケーション事業はソフトウェアの領域の比重が大きいため、将来的には利益の大きな柱になると期待しています。
- ・ 09年度から12年度にかけて売上高が伸びるのはソフトウェア、ハードウェア、ネットワークのどの領域ですか。
 - 全ての領域で伸びます。09年度と12年度を比較すると、ソフトウェアは売上高構成比率が23%から25%となっており、売上高の伸びも一番大きいです。ハードウェアは構成比が下がるため、減っているように見えますが、売上高そのものは伸びます。ネットワーク領域はユニファイドコミュニケーションを中心にしてしっかりと伸ばしていく計画です。売上高が一番大きく伸びるのはソフトウェア、次にネットワーク、ハードウェアの順だと考えています。

- どのようにしてサーバを海外に拡販していくのですか。
 - 昨年4月の組織変更に伴い、ネットワークのグローバルな販売店網を活用してサーバを売っていける体制が整いました。これを強化することで、販売台数を拡大していきたいと思います。
- クラウドが普及するとストレージの重要性が高まると思いますが、NECはストレージ事業をどのように考えていますか。
 - クラウドが普及すると、データ量が増えるため、それを保管する場所が必要になります。ただ、クラウド環境では、音声、動画、画像などの非構造データが増えることが予想されており、この領域には、これまでと違った役割のストレージが必要となります。NECは、コモン・プラットフォームを活用し、こうした役割のストレージ製品を強化する計画です。

以上